

「検察官と被害者支援 ～被害者遺族による講演会に接して」

岡山地方検察庁前検事正 花崎 政之



被害者サポートセンターおokayama (VSCO) の皆様方には、平素から犯罪被害者の支援に御尽力いただき、深く敬意を表しますとともに、御礼申し上げます。

私ども検察は、刑事事件の真相を解明し、罪を犯した者に対して、その犯した罪に見合った適切な刑罰権を行使することによって、社会正義を実現するとともに、治安の良い安心安全な社会を実現することを責務としていますが、犯罪によって最も深刻な打撃を受けるのは被害者やその御遺族であることを考えると、検察としましては、不幸にも犯罪被害者やその御遺族となってしまった方々に常に寄り添い、可能な限りの支援を行わなければなりません。

そのため、被害者支援を実現するにあたっては、検察とVSCO等の被害者支援団体との緊密な連携・協力が極めて重要となってきます。

VSCOを初めとする被害者支援団体におかれては、これまで様々な形で被害者支援を担っていただいているのですが、その一環として被害者遺族による講演会も開催されています。私も、先日、被害者遺族の講演会に出席させていただき、少年犯罪によって御息子を殺害された御遺族の話を拝聴しました。約1時間半にわたる講演でしたが、凄惨な犯罪によってかけがえのない子供の命を奪われたという例えようのない怒りと悲しみ、喪失感に苛まれた第一次被害、御遺族に対する実に無神経なマスコミの取材や近隣住民からの心ない言動によって苦しめられた第二次被害に加え、近隣住民との人間関係を断たなければならなくなった第三次被害等、被害者遺族を次々と襲った、理不尽な苦難が語られました。

検察官は、刑事事件の日々の捜査・公判において、被害者本人や御遺族から話を伺う機会が多いのですが、伺う内容に関しては、限られた時間の中で、どうしても、事件処理や公判遂行に必要な被害状況や犯人に対する処罰感情に限定されてしまうことが多く、なかなかそれ以上に事件後の被害者や御遺族の日常や心情の推移をつぶさに伺うことができないのが実情です。

したがって、講演会において、私自身、被害者遺族から直接に詳細な被害者の実情を聞くことができましたのは、被害者支援を考える上で、検察官として大変貴重な機会であったと思いましたが、現場の検察官も、このような被害者やその御遺族が自らの言葉で語っていただける場に積極的に出席し、改めて被害者支援を考える機会を作ってもらいたいと実感した次第です。

捜査・公判における被害者保護・支援に関しては、捜査段階からの被害者特定事項の秘匿、公判への被害者参加、被害者参加人等による被告人質問や意見陳述、被害者参加人への付添い、遮蔽措置やビデオリンクを活用した被害者の証人尋問、心情等聴取・伝達制度等、制度的に徐々に整備されてきましたが、それでもまだ改善すべき点もあると思われます。

例えば、心情等聴取・伝達制度に関しては、先日、テレビニュースの中で特集として放映されていたのですが、娘さんを殺害された被害者遺族の「一言でいいから謝ってもらいたい」という犯人への悲痛な思いに対し、服役中の犯人は「謝るつもりはない。これからは過去のことは考えずに、前だけを向いて生きていく。」などという、誠に身勝手極まりない、御遺族の心情を踏みにじる心ない回答をしていました。これは、被害者等のための心情等・聴取伝達制度が、同制度を利用したために、かえって被害者遺族をより一層苦しめる結果になる可能性があることを示唆しており、今後、同制度の運用の改善を考える必要があるのではないかと感じました。

今後も、私ども検察は、各種の被害者支援制度を活用するなどして被害者に寄り添いつつ、捜査・公判を通じて事件の真相解明を実現してまいります。VSCOの皆様方におかれましても、引き続き犯罪被害者等の心に寄り添った、温かくきめ細かい御支援をいただけるよう、よろしく願いいたします。(令和6年11月27日執筆)

| 事業名 | 実施内容 |
|-------------|--|
| 電話面接・直接支援など | 令和3年度から、県の委託を受け、性暴力被害相談員を新たに雇用するなど「性暴力被害者支援センター『おかやま心』」の充実・強化を図っています。 |
| 支援員の養成と支援体制 | 令和6年は、基礎講座（11名参加）を5月から7月まで6回、中級講座（6名参加）は8月から11月まで6回開催しました。 令和6年11月30日現在の支援体制は、犯罪被害相談員7名、犯罪被害者等給付金申請補助員4名、電話・面接相談員20名、犯罪被害者直接支援員12名、自助グループ支援員4名、事務局職員3名、性暴力被害相談員6名となっています。 |
| 研 修 | 全国被害者支援ネットワーク主催の全国研修会、中四国ブロック研修会下半期（2月）・上半期（7月）に参加しました。また、VSCO独自の継続研修として毎月1回支援のあり方や事例検討等の研修を行いました。 |
| 広報・啓発 | <p>○ フォーラム等の開催</p> <p>① 岡山市共催事業「犯罪被害者支援を考える市民のつどい」 令和6年2月3日（土） ピュアリティまきび（岡山市） 参加者65人 講演 「ある日突然、最愛の母の生命を奪われて ～残された兄妹の思い～」 講師 栗原 一二三氏 栗原 穂瑞氏 ミニコンサート アイルランド音楽ユニット LeapRick（リープリック）</p> <p>② 岡山県委託事業「犯罪被害者支援講演会」 令和6年8月4日（日） ピュアリティまきび（岡山市） 参加者78名 講演 「東日本大震災の次の日、娘は命を奪われた」 講師 清 家政明氏（殺人事件被害者ご遺族） パネルディスカッション 「これからの犯罪被害者支援について」 パネリスト 清 家政明氏（徳島県被害者支援センター理事） 加藤 裕司（被害者サポートセンターおかやま代表理事） コーディネーター 片山 文氏（NNVS認定コーディネーター、公認心理師）</p> <p>③ 岡山県警委託事業「犯罪被害者支援フォーラム 2024in おかやま」 令和6年11月24日（日） ピュアリティまきび（岡山市） 参加者85名 講演 「ながらスマホ運転は危険運転 ～あれから8年今も敬太と共に～」 講師 則 竹 崇智氏（交通死亡事故ご遺族） コンサート 岡山県警察音楽隊</p> <p>○ 機関誌の発行 1月に機関誌「いっつもそばに」第19号を2,000部発行し、会員等へ業務内容、活動状況等の報告を行うとともに、フォーラム等の参加者に配布し、VSCOのPRを行いました。</p> <p>○ パネル展の開催 「いのちと魂のメッセージ」をフォーラム等の会場や岡山、倉敷、総社で開催し、被害者の声を発信しました。(p.4参照)</p> <p>○ その他</p> <p>① 地方自治体、学校等の講演会・研修会に講師派遣をしています。(p.4参照)</p> <p>② VSCOのホームページ「新着情報」で、活動情報などを発信しています。</p> <p>③ 「おかやま心」YouTube動画広告を夏休み期間中に配信しました。</p> |
| 募 金 活 動 | 赤い羽根共同募金会の「テーマ募金」で「地域から孤立をなくそう」ささえあいプロジェクトを毎年実施していますが、本年度は目標額を若干下回りました。この募金は、被害者支援員養成講座の運営費、「おかやま心」性暴力被害相談員の人件費の一部に充てています。また、ホンデリングによる寄付や募金箱の設置をお願いしています。(p.9参照) |
| 支援自販機の設置 | 犯罪被害者支援自動販売機の設置を呼びかけ、12月31日現在64か所に設置しています。(p.9参照)売上金の一部が寄付金となり支援活動を行う上で貴重な財源となっていますが、台数は毎年減少してきており、寄付金も減少しています。 |
| 助成事業の実施 | 日本財団の預保納付金助成事業として、被害者支援員養成講座の開催や相談員に対する研修を実施しました。 |

令和6年度総会の開催

令和6年度定時社員総会を、6月15日、岡山市北区平和町の「後楽ホテル」で開催しました。令和5年度事業報告を行い、同年度決算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録が承認されました。また、7名の理事、1名の監事が選任されました。



総会開会

○ **選任された理事** 加藤裕司、嶋村 稔、片山 文、若林久義、中島豊爾、
難波 光、井上 淳

○ **選任された監事** 森本治雄

○ **感謝状の贈呈**

| | | |
|--------------|-----|--|
| 正会員歴 10年の個人 | 5名 | 阿部俊子、山下貴司 橋本 岳、高橋雄大、鍋島千秋 |
| 賛助会員歴 10年の団体 | 7団体 | (株) アイスライン、(株) 大手饅頭伊部屋 公益社団法人岡山県看護協会、クラブン(株)、サンコー印刷(株) 一般財団法人共愛会芳野病院、匿名1団体 |
| 賛助会員歴 10年の個人 | 6名 | 日下和子、中山美恵子、平田祥之、矢野友哉、山崎真男、山崎資司 |
| 多額寄付の団体 | 2団体 | 公益財団法人大原記念倉敷中央病院、(株) 倉敷アイビースクエア |
| 多額寄付の個人 | 1名 | 匿名 |

○ **令和5年度収支報告書(概要)**

(収入) 正会員及び賛助会員会費、地方公共団体補助金・負担金、地方公共団体委託費、民間助成金、寄付金、雑収益等 = 合計 22,659 千円

(支出) 相談事業費、直接支援事業費、相談員等養成研修事業費、広報啓発事業費、管理費等 = 合計 22,102 千円
当期経常増減額は 557 千円の増額で、当期一般正味財産増減額は、経常外増減額(会費徴収不能額等) △ 126 千円を加えて 432 千円の増額となりました。

○ **令和6年度事業計画(重点目標)**

令和6年度は、次の諸点を重点目標として、特色ある活動を行う計画としました。

- (1) 犯罪被害者支援のための活動を、常時多面的かつ総合的に展開する。(2) 関係機関との連携を深める。
- (3) 地域の総合力を生かした活動を展開し、また広報啓発に努める。(4) 財政基盤を確立強化する。

○ **令和6年度の役員等**

| | |
|--------|---------------------------------------|
| 顧問 | 村田吉隆 (元国務大臣・犯罪被害者等施策担当) |
| | 岡崎 彬 (岡山ガス会長) |
| | 皆木英也 (公益社団法人岡山県暴力追放運動推進センター 元専務理事) |
| | 松田 久 (岡山商工会議所会頭・両備ホールディングス(株) 副会長) |
| 代表理事 | 加藤裕司 |
| 業務執行理事 | 片山 文、井上 淳 |
| 理事 | 若林久義、中島豊爾、嶋村 稔、難波 光 |
| 監事 | 森本治雄 |
| 事務局長 | 草加成章 |

令和5年度収支報告書(概要) (単位: 千円)

| | | |
|----------------|---------------|-------|
| 会費 (正会員・賛助会員) | 2,080 | |
| 地方公共団体補助金 | 2,148 | |
| 民間助成金 | 2,010 | |
| 地方公共団体委託費 | 13,164 | |
| 寄付金 | 3,157 | |
| 雑収益 | 100 | |
| 経常収益合計 | 22,659 | |
| 公益目的事業 | 相談事業 | 5,247 |
| | 直接的支援事業 | 1,484 |
| | 支援員養成・研修事業 | 2,434 |
| | 広報啓発事業 | 3,573 |
| | おかやま心事業 | 5,692 |
| 公益目的事業共通 | 1,147 | |
| 法人会計 | 2,525 | |
| 経常費用合計 | 22,102 | |
| 当期経常増減額 | 557 | |

社員総会後の理事会において、代表理事に加藤裕司、業務執行理事に片山文、井上淳が選任されました。

広報・啓発活動

総社市社会福祉協議会主催・犯罪被害者支援講演会 11/19

総社市の山手公民館で犯罪被害者週間に合わせ、総社市社会福祉協議会・総社市権利擁護センター主催の「令和6年度 犯罪被害者支援講演会」が行われました。

「民生委員・児童委員や更生保護女性会など、地域での見守りを担う方たちへ犯罪被害者支援を少しでも身近に感じてもらうと、開催しました。被害者にいち早く気づき、支援者に繋いでくださる方たちに、正しい知識を広めるのが目的です」と、権利擁護センターの方は、開催の意義について説明されました。

講演では、犯罪被害者のおかれている現状と、被害者への接し方、話の聴き方など、二次被害を防ぎながら被害者に寄り添う対応についてお伝えしました。

被害者支援だけではなく、防犯、災害、子育てなど、「地域のつながり」は大切だといわれています。被害者や相談者が安心して話せる、支えられる、人々のつながりが活きる地域をつくるために他の市町村にもこのような講演会を開催していただきたいと思います。



VSCOの片山 文業務執行理事による講演



「いのちと魂のメッセージ」のパネル展示



「ホンデリング・プロジェクト」

●受講しての感想

- 「講義は分かりやすく、よく理解することができました」
- 「被害に遭われた方の現状をよく知ることができました」
- 「無理解な言動・被害者像の押し付けなど、被害者の方にしがちな行動だと思う。相手の思いを尊重し、相手のことを気にかける行動ができる自分でありたい」
- 「パネル展示、心に響きました」
- 「地域でできることを協力します」
- 「犯罪被害者の方にあたたかい言葉がけができる人になります」

犯罪被害者等支援パネル展 6/18～6/20

倉敷市とVSCOの共催で倉敷市役所展示ホールで犯罪被害者等支援パネル展を行いました。18日・20日はVSCOの支援員が、希望者への個別相談にも応じました。このパネル展は、令和7年3月にも開催の予定です。

犯罪被害者支援
シンボルマーク
「ギョッとちゃん」



倉敷市による関連書籍展示



「いのちと魂のメッセージ展」

「ある日突然、最愛の母の生命を奪われて」ー残された兄妹の思いー

●講師 ^{くりはら ひふみ} 栗原 一二三 氏 ^{くりはら ほすえ} 栗原 穂瑞 氏 (殺人事件被害者ご遺族)

岡山市との共催で「犯罪被害者を考える市民のつどい」

ピュアリティまきび 令和6年2/3

強盗殺人事件

事件は2012年8月25日土曜日の朝、母親の秀子さんと同居する一二三さんが出勤した後に起きました。数日前から近隣で不審者の情報があり、秀子さんも塀を乗り越える不審者を目撃していました。事件前日には、泥棒が侵入し通帳などが盗まれたため、翌日、近隣に住む穂瑞さんと警察へ連絡する事にしていました。そういう状況のなか事件が起きました。穂瑞さんは「前日に母親から電話を受けたとき私が行っていたらという思いは、一生消えることはありません」と話されました。一二三さんは職場に着いて間もなく警察から電話が入り、秀子さんが刃物で刺されて病院に搬送されたことを知りました。



講師 栗原 一二三 氏



講師 栗原 穂瑞 氏

事件後の影響

一二三さんは被害者参加制度によって裁判員裁判に参加しました。加害者側の理不尽な主張が繰り返され、罪を認めることも謝罪もありませんでした。「窃盗をした翌日に侵入して母の命を奪った。その犯罪行為は絶対に許せないと述べたが、母親を失った悲しさ、つらさなどの思いを伝えたくても表現する言葉がみつからなかった」と、もどかしい思いを話されました。

一二三さんが事件から職場に復帰するまで50日を要しました。現場検証の立ち合いなど、被害者となったがゆえに生じた時間です。しかし、そのための特別な休暇はなく、ご自分の他の休暇をあてざるを得ませんでした。職場に戻ると、「そろそろ落ち着いたか?」と言葉をかけられ、「いや、一生落ち着かないと思う」と返答しました。意識のずれに困惑してしまいました。事件から1年6か月が経過した頃、裁判員裁判が開始されるので、ある上司に報告したところ、「周りの人とよく相談してその時間をつくってください」と他人事のように言われ、もう個人的な出来事として対応しないといけないと思いました。

穂瑞さんは、「報道関係者が来るかもしれないと刑事さんから聞いて、少しの灯りも漏れないようにカーテンを閉めて、真っ暗な部屋で数日間過ごした。何度もマンションのインターホンを押されて、恐怖だった。仲の良い友達にも自分の苦しい思いを話せなかった。それは今も当時と変わっていない。11年たっても、人が怖い、人の目が気になる」と話されました。

被害者支援・自助グループ

埼玉県警犯罪被害者支援室や埼玉犯罪被害者援助センターでは、ある被害者の方に「被害者に刑期満了はない。加害者は刑期を終えて世の中に出てくるが、被害者は一生深い心の傷を抱いて生きていけないといけません」と言われました。その一方で、支援員の方からは、「心の傷は消えないかもしれないけど、小さく浅くすることはできるかもしれない」と、言われ、すごく救われた思いがしました。

自助グループ「彩のこころ」が2017年の5月に発足し、お二人はその発足当時から初期メンバーに加わりました。初めて、他では話せない自分の気持ちを話すことができました。被害者の思いを共感する場があることを非常にありがたく思っていると話されました。

一二三さんからは、「被害者の声を聴いていただくことが支援の一步です」。穂瑞さんからは、「被害者・被害者遺族がこの世の中に埋もれていることを少しでも認識していただきたいです」との言葉がありました。

大学生がフォーラムの司会

犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会「あした彩」の大学生が司会を行いました。



岡山理科大学
中内 寛人さん

岡山理科大学
松尾 昭英さん

「東日本大震災の次の日、娘は命を奪われた」

●講師 きよか まさあき 清家 政明 氏（殺人事件被害者ご遺族）

岡山県との共催で「犯罪被害者支援講演会」

ピュアリティまきび 令和6年8/4



講師 清家 政明 氏

娘さんの生い立ち

清家さんは、2011年3月12日に、長女の松本千鶴^{ちづ}さんを亡くしました。薬剤師として京都の薬局で勤務中に、同僚男性から何度も刺された失血死でした。震災の日に、「通勤に気をつけて」とメールを送ってくれたのが、やりとりした最後になりました。

娘さんは岡山市生まれ。清家さんの転勤で、当時住んでいた後楽園の近く、旭川にかかる鶴見橋から「鶴のように長生きしてほしい」と名付けました。その後、高校までを徳島で過ごし、薬学を学ぶため京都の大学に進み、同じ薬剤師の男性と結婚しました。調剤薬局で一生懸命働いていた時に被害にあい、36歳で命を落としました。生きていれば、今年50歳になります。

裁判で感じた無念

大震災翌日の事件だったため、全国紙には記事が出ず、二次被害には遭いませんでした。それでも、親族の過半数がカウンセリングを受け、娘さんの夫は2年くらい仕事ができなくなり、清家さんも帯状疱疹になるなど心身に変調をきたしました。

1年後に裁判員裁判が始まり、犯人は「殺すのは誰でもよかった」と供述。裁判を聞くのはつらかったものの、被害者参加制度で意見陳述を行いました。人の命は平等であり、何の落ち度もない娘が死んだのだから、犯人も死ななければいけないのでは、と極刑にしてほしいと、裁判の中で訴えましたが、判決は無期懲役でした。事件から13年たちますが、今でも犯人を許せない、という気持ちに変わりはありません。

結局、犯人から謝罪や反省の弁はなく、いつかは聞く機会があるだろうと思っていましたが、2021年に犯人は刑務所内で自殺してしまいました。犯人が死亡後にどうなったのか、遺骨は親が引き取ったのかなど、わからないままです。

被害者支援活動へ参加

清家さんは、いま徳島の被害者支援センターの理事をされています。はじめは、お茶を飲みながら支援員やカウンセラーと1時間くらい話をするだけでしたが、活動の手伝いをしたいと思うようになりました。被害者が理事になる例はあまり多くありませんが、理事に推薦してもらいました。最近では、センターにくる心理学専攻の大学生にご自分の経験や想いを伝えたり、徳島県の犯罪被害者等支援審議会に委員として参加、さらに刑務所、看護学校などで講演も行っています。また、裁判員裁判に向けて集めた100冊以上の本を被害者支援センターに寄贈されました。

被害者は精神的な浮き沈みがあり、沈んだままているのが大変つらい。しかも、事件直後だけでなく非常に長い年月にわたって影響を受けてしまうので、長期にわたる精神面での支援が必要だと話されました。

被害者支援の課題としては、そもそも支援センターの存在が知られていないこと。また、国が支給する被害者給付金は、金額が少ない状況です。加害者から賠償金が払われることはまれで、被害者の負担を少しでも減らしてもらいたいことが願いです。犯罪被害にあう人は人口の1%のみですが、もし皆さんがいつか被害にあってしまったら、今日の話の思い出してもらいたい、と訴えました。

大学生がフォーラムの司会

犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会「あした彩」の大学生が司会を行いました。



岡山大学
藤原 健太郎さん

岡山大学
杉本 喜一さん

「ながらスマホ運転は危険運転 ～あれから8年今も敬太と共に～」

●講師 のりたけ たかとし 則竹 崇智 氏 (交通死亡事故で遺族)

岡山県警察本部・岡山県との共催で「犯罪被害者支援フォーラム 2024in おかやま」

ピュアリティまきび 令和6年11/24



講師 則竹 崇智 氏

ポケモンGOをしながらの交通事故

則竹さんは、2016年10月に、小学校4年生だった次男の敬太さんを交通事故で亡くしました。学校からの下校途中、自宅のすぐ近くの横断歩道で、トラックを運転していた男にはねられ、救急搬送されました。一緒に下校していた小学6年の兄の目の前で事故でした。

職場に連絡がきて病院に駆けつけると、敬太さんは心肺停止。家族は、集中治療室で手を握り、声をかけることしかできませんでした。搬送から2時間後、意識が戻らないまま、出血性ショックにより、9歳11か月で天国に行きました。

トラックの運転手は、ずっとスマホのゲーム「ポケモンGO」をしながら運転しており、子どもたちに気づいたのにゲームをやり続け、直前でブレーキをかけたものの間に合いませんでした。事故から亡くなるまでをずっと見ていた長男が、「敬太は何でも一番乗りするのが好きだったから、天国まで一番乗りしちゃったね」と言った言葉が、則竹さんには忘れられません。

なぜ危険運転ではないのか

事故の翌日、警察が「運転手はポケモンGOをしながらはねた」とプレス発表をし、午後には新聞記者が家に来ました。怒りと悲しみでいっぱいの時だったので、失礼だと感じました。でも記者に「なぜこんな理不尽な理由で命を奪われないといけないのか。事故を減らすため、少しでもいいのでお気持ちを聞かせて下さい」と言われました。教師として生徒に「自分の気持ちは言葉にしないと伝わらないよ」と言っていたことを思い出し、話さないといけないと思いました。

ゲームをしながら運転して、なぜ過失なのか?危険運転の定義の中に、「ながらスマホ」は入っていませんでした。スマートフォンは便利な道具ですが、使い方を間違えると凶器になります。ポケモンGOの運営会社に、「歩く速度でしか使えないようにしてほしい」、との要望書も出しました。すると、「被害者だから何を言ってもいいと思うな」、などとひどい誹謗中傷を受けました。

敬太さんをひいた運転手は、禁固3年の実刑でした。加害者が社会復帰するのを頭で理解はできますが、感情的に納得はできません。交通事故はもっと減らせるはず、無くせるはずです。

事故・事件を減らすには啓発や教育が重要

則竹さんは、どうしたら事故や事件を減らせるのか、ずっと考えてきました。犯罪被害に遭っている人がたくさんいますが、被害者支援の内容は知られておらず、救われていない人も多し。被害者支援でカウンセリングの制度がありますが、則竹さんの妻は事故直後には家から出ることすらできませんでした。また、事故後に必要な様々な役所の手続きは申請主義で、事故直後の精神状態では役所に行くことも難しいので、もう少しきめ細かな支援が必要だと訴えました。

被害者の心のうちを聴いてもらえるだけでありがたいと思い、事故から7年半で300回を超える講演を行ってきました。事故の一部始終を見ていた長男の心の傷も大きく、こういった被害者の想いを何とか減らしたいと思い、力を振りしぼって壇上に立つようにしています。「一番身近な人に、“ありがとう”“ごめんね”、と自分の言葉で伝えられること。平凡な毎日を繰り返してできることが一番の幸せだと、なくす前に気づけませんでした」と話されました。

大学生がフォーラムの司会

犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会「あした彩」の大学生が司会を行いました。



被害者支援活動の実施状況

2024年1月～12月分

1 相談件数（継続相談を含む）

- 電話 727
- 面接 19
- その他 2

■面接相談の端緒

| | | | |
|-------|----|--------|----|
| 電話相談後 | 12 | 他機関の要請 | 7 |
| その他 | 0 | 計 | 19 |

2 相談の内訳

■男女別相談件数（継続相談を含む）

| | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|----|----|---|-----|
| 男 | 110 | 女 | 619 | 不明 | 19 | 計 | 748 |
|---|-----|---|-----|----|----|---|-----|

■相談（被害）内容（継続相談を含む）

| 被害内容 | 件数 | 被害内容 | 件数 |
|---------|-----|---------|-----|
| 殺人・傷害致死 | 8 | 交通死亡事故 | 5 |
| 強盗（致死傷） | 0 | 交通事故 | 2 |
| 不同意性交等 | 315 | 財産的被害 | 16 |
| 不同意わいせつ | 80 | DV | 80 |
| その他の性暴力 | 67 | ストーカー | 2 |
| 暴行・傷害 | 38 | 虐待（いじめ） | 2 |
| その他の身体犯 | 4 | その他 | 126 |
| 危険運転致死傷 | 3 | 計 | 748 |

3 紹介（件数）

| | | | |
|-------------|----|-----------------------------|----|
| 岡山弁護士会 | 1 | 県消費生活センター | 0 |
| LA岡山 | 0 | 交通事故相談所 | 0 |
| 法テラス岡山地方事務所 | 15 | 「おかやま被害者支援ネットワーク」加盟機関（上記以外） | 0 |
| 精神科医 | 0 | 警察 | 28 |
| 臨床心理士 | 0 | 上記以外の機関 | 21 |
| 県女性相談所 | 3 | 計 | 70 |
| 県中央児童相談所 | 2 | | |

4 直接的支援関係（回数）

| | | | |
|----------------|----------|-------------------|---------------|
| 警察関連支援 | 3 | 行政窓口等付添 | 8 |
| 警察への付き添い | | 県女性相談所への連絡・付添い | |
| 被害届・告訴状の提出サポート | | 県・市児童相談所への連絡・付添い | |
| 被害者連絡制度の利用 | | 関係機関連絡会議への出席と連携 | |
| 警告等の申出のサポート | | 公営住宅等の確保等 | |
| 検察庁関連支援 | 3 | 引っ越し・住民票開示等 | 11 |
| 検察庁への付き添い | | 病院付添い | |
| 被害者等通知制度の利用 | | 病院（産婦人科医含む）紹介・付添い | |
| 不起訴記録の開示 | | エイズ検査への立会 | |
| 検察審査会への申立など | | 精神科医の紹介・付添い | |
| 出所情報の確保など | | 自宅訪問 | 0 |
| 裁判関連支援 | 17 | 生活支援 | 0 |
| 弁護士相談への付添い | | 宿泊施設提供 | 0 |
| 刑事裁判・審判への付き添い | | その他 | 26 |
| 代理傍聴 | | 法テラスへの付添い | |
| 意見陳述のサポート | | 仲裁センターへの付添い | |
| 保護命令申立など | | マスクミ対応 | |
| 証人の遮蔽・ビデオリンクなど | | その他 | 自助グループ |
| | 自助グループ開催 | | |
| 合計 68 | | | |

5 犯給金等申請の補助（申請した件数）

| | |
|------------------------|---|
| 犯給金申請のサポート | 0 |
| 犯罪被害者遺児等に対する奨学金給付のサポート | 0 |
| まごころ奨学金申請のサポート | 0 |

6 支援金（支給した件数）

| | |
|---------------------------|---|
| 全国ネット被害者緊急支援金の給付 | 0 |
| VSCO 犯罪被害者支援金の支給 | 1 |
| VSCO 性暴力被害者のための医療費等支援金の支給 | 4 |

性暴力被害者支援センター「おかやま心」の実施状況 2024年1月～12月分

上記 VSCO「被害者支援活動の実施状況」の内数になります。

1 相談件数（継続相談を含む）

- 電話 604
- 面接 17
- その他 2 ※11月からメール相談開始（メール）

2 相談の内訳

■男女別相談件数（継続相談を含む）

| | | | | | | | |
|---|----|---|-----|----|----|---|-----|
| 男 | 68 | 女 | 537 | 不明 | 18 | 計 | 623 |
|---|----|---|-----|----|----|---|-----|

■相談（被害）内容（継続相談を含む）

| | |
|---------|-----|
| 不同意性交等 | 302 |
| 監護者性交等 | 14 |
| 不同意わいせつ | 71 |
| 監護者わいせつ | 8 |
| その他の性被害 | 66 |
| DV | 76 |
| ストーカー | 1 |
| その他 | 85 |
| 計 | 623 |

3 相談の端緒（件数）

| | | | |
|----------|----|-----------|-----|
| ホームページ | 44 | 警察提供・教示 | 5 |
| トイレステッカー | 3 | 関係機関からの紹介 | 21 |
| コールセンター | 90 | その他 | 69 |
| #8891 | 9 | 計 | 241 |



VSCOからのお願い

犯罪被害者支援自動販売機の設置にご協力ください

VSCOでは、関係各位のご協力により、支援自販機を設置していただいています。

自販機の設置により、設置者から、販売手数料の全部または一部を寄付していただくものです。寄付金は、犯罪被害に遭われた方やそのご家族、ご遺族の支援に充てられます。社会貢献の一環として、この自販機を設置していただける方や団体を募集しています。設置を検討してくださる場合は、VSCOの事務局へご連絡ください。



新見公立大学3号館正面玄関入口(写真左)、本館1階多目的ホール(写真右) ▲

——— たくさんのご寄付をいただき、ありがとうございました。 ———

【自販機設置場所】

※敬称略、名称は設置場所、順不同

公益財団法人慈圭会 慈圭病院、(株)大本組 本店ビル、大本組・梶岡建設・土井建設JV 総社現場、西の屋赤坂店、西の屋菊ヶ峠店、ドコモショップ平井店、ドコモショップ総社店、ドコモショップ津山小田中店、ドコモショップ岡山瀬戸店、(有)西山建設商事、環太平洋大学(2台)、(株)セキュリティハウス、みのる産業(株)本社工場(3台)、みのる化成(株)本社、みのる化成(株)クリーンボックス工場(2台)、みのる化成(株)くろがね工場(2台)、みのる化成(株)牟佐工場、ENEOS(株)水島製油所、エムシー・ファティコム(株)(4台)、岡山理科大学(6台)、モリマシナリー(株)、JFE西日本ジーエス(株)JFE見学センター、吉備国際大学、小金井自動車学校(栃木県)、神戸西インター自動車学校(兵庫県)、太秦自動車教習所(京都府)、公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院、(株)倉敷アイビースクエア、三菱自動車工業(株)水島製作所、医療法人社団尚志会 福山城西病院(広島県)、サンコー印刷(株)工場、社会医療法人盛全会 岡山西大寺病院、新見公立大学(2台)、(株)サンラヴィアン(2台)、社会福祉法人恩賜財団済生会支部岡山県済生会 岡山済生会総合病院、(株)千田組 本社(2台)、アットパーク大供 第2駐車場、玉野総合医療専門学校、(有)大成玩具、アップル歯科クリニック、横井コミュニティハウス、グッドライフグループ津高介護センター、津島新野(フジワラ)、美川コミュニティハウス、岡山地方法務局、岡山地方法務局 西古松合同庁舎、美作大学 新白梅寮、(株)カーテン・じゅうたん王国 岡山今店、あいおいニッセイ同和損害保険(株) 岡山支店岡山支社、第2アマノビル(設置台数64台)

【協力ベンダー会社】

サントリービバレッジソリューション(株)、ヒカリエンタープライズ(株)、FVジャパン(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、(株)キリンビバックス、ネオス(株)、(株)スギノ、(有)日東ベンディング中国、(株)コーシン、(株)野口商店、(株)フジタ商事、(株)伊藤園

本で広がる支援の輪～ホンデリング～にご協力ください

不要になった書籍、CD、DVD、ゲームソフトなどを寄贈していただくことにより、犯罪被害に遭われた方々への支援活動に役立てるプロジェクトです。

(注) ISBNのない本、百科事典、個人出版本、雑誌は取り扱いできません。また、電話での申し込みは終了しています。現在は、インターネットでの受付のみとなっていますので、VSCOのホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。

11月24日開催の「犯罪被害者支援フォーラム2024 in おかやま」の会場で、あした彩の学生の皆さんが「ホンデリング・プロジェクト」を行い、たくさんのお書を集めていただきました。ご協力ありがとうございました。



募金箱の設置をお願いします

店舗、病院、企業等にVSCOの募金箱を置かせてください。12月31日現在、岡山県パチンコ・パチスロ業協同組合の加盟店・病院・美容院・喫茶店等59か所に設置していただいています。



一般財団法人「厚生会」から毎年多額の寄付金をいただいております。ご支援ありがとうございます。

公益社団法人被害者サポートセンターおかやま (VSCO) 会員名簿

(2024.12.31 現在 50 音順 敬称略)

会員の皆様、いつもご支援ご協力ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

正会員 【個人】

| | |
|-------|---------------|
| 逢沢 一郎 | 衆議院議員 |
| 阿部 俊子 | 衆議院議員 |
| 荒木 信之 | 弁護士 |
| 家野 昌子 | 非常勤講師 |
| 板野 次郎 | 弁護士 |
| 井田千津子 | 弁護士 |
| 出原 陽平 | 看護師 |
| 伊東 京子 | |
| 井上 志乃 | |
| 井上 淳 | 地方公務員 |
| 井上 雅雄 | 弁護士 |
| 今村恵美子 | 弁護士 |
| 江見由香里 | |
| 大塚 愛 | 岡山県議会議員 |
| 奥田 哲也 | 弁護士 |
| 鬼木のぞみ | 岡山市議会議員 |
| 小野田紀美 | 参議院議員 |
| 片山 文 | 公認心理師 |
| 片山 恵子 | |
| 加藤 勝信 | 衆議院議員 |
| 加藤 航平 | 弁護士 |
| 加藤 裕司 | 自由業 |
| 金重恵美子 | 岡山中央病院 副院長 |
| 木口 京子 | 岡山県議会議員 |
| 桐野 忠夫 | 地方公務員 |
| 草加 成章 | 団体職員 |
| 桑田 桂子 | 岡山市議会議員 |
| 小山 実 | 岡山商科大学付属高校 教員 |
| 作花 知志 | 弁護士 |
| 澤畑 優太 | 弁護士 |

| | |
|-------|-------------------|
| 嶋村 稔 | |
| 鈴木 一成 | 会社経営 |
| 高橋 雄大 | 岡山市議会議員 |
| 高原 俊彦 | 岡山県議会議員 |
| 竹原 幹 | 瀬戸内市議会議員 |
| 坪井 一彦 | 社会福祉ボランティア士 |
| 鶴井 洋子 | 会社員 |
| 寺田 和子 | 保健師 |
| 飛山 美保 | 弁護士 |
| 中島 豊爾 | 岡山県精神科医療センター 名誉院長 |
| 中原 淑子 | 岡山市議会議員 |
| 中村 純子 | |
| 鍋島 千秋 | |
| 難波 光 | |
| 新谷 恭二 | ㈱リースキン岡山 代表取締役 |
| 萩原 誠司 | 美作市長 |
| 橋本 岳 | 前衆議院議員 |
| 林 潤 | 岡山市議会議員 |
| 播間 友恵 | |
| 日笠 久栄 | |
| 東 隆司 | 弁護士 |
| 平松 真紀 | 弁護士 |
| 福田 司 | 岡山県議会議員 |
| 堀井 茂男 | 慈圭病院 名誉院長 |
| 前原 幸夫 | 代表社員(税理士) |
| 松村 正基 | 会社員 |
| 松本 好厚 | 岡山市議会議員 |
| 三木 亮治 | 岡山市議会議員 |
| 宮本美穂子 | 弁護士 |
| 三好 英宏 | 弁護士 |

| | |
|-------|---------------|
| 室賀 康史 | 室賀ネジ機工㈱ 代表取締役 |
| 森本 治雄 | 税理士 |
| 森脇 正 | 弁護士 |
| 森脇 久紀 | 岡山県議会議員 |
| 安田 寛 | 弁護士 |
| 山崎 悦子 | |
| 山本 諒平 | 弁護士 |
| 吉田由紀子 | |
| 若林 久義 | 地方公務員 |

以上の他に匿名希望 16 名、合計 85 名です。

正会員 【団体】

| |
|------------------|
| 株式会社 山陽設計 |
| 西尾総合印刷 株式会社 |
| 蜂谷工業 株式会社 |
| ライフデザイン・カバヤ 株式会社 |

以上の 4 団体です。

正会員・賛助会員になって、VSCOをサポートしてください

正会員 当センターの目的に賛同し、その運営に参加する個人、団体です。

賛助会員 当センターの事業を財政面で支援して下さる個人、団体です。

年会費は、次のとおりです。

| | | | | | | | |
|------------|----|----|---------|-------------|----|----|---------|
| 正会員 | 個人 | 1口 | 10,000円 | 賛助会員 | 個人 | 1口 | 2,000円 |
| | 団体 | 1口 | 30,000円 | | 団体 | 1口 | 10,000円 |

ご不明の点は、VSCOの事務局（電話 086-223-5564）へお問い合わせください。

賛助会員 【個人】

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 出井 敏雅 | 日下 知子 | 土器 悦子 | 平部 一美 | 山崎 真男 |
| 猪木 健二 | 黒瀬 達夫 | 中村 叡子 | 藤井 恵子 | 山崎 資司 |
| 今井 洋子 | 小林 淳 | 中川 佳子 | 藤澤 浩子 | 山田 成一 |
| 五代儀幸司 | 酒井 健裕 | 長崎 司 | 藤原 一徳 | 山水祐喜子 |
| 岩瀬 玲子 | 崎本 敏子 | 永瀬 隆一 | 本城 宏一 | 山本 賢昌 |
| 上山 俊明 | 笹井 初音 | 中塚 多聞 | 前田 厚美 | 渡辺 典子 |
| 太田垣弘枝 | 芝田 正剛 | 中西 邦夫 | 正木 さわ | |
| 大森 一枝 | 嶋村 洋子 | 中山 正汎 | 三浦 一男 | |
| 岡崎 尚子 | 新谷 芳子 | 中山美恵子 | 水川美代子 | |
| 岡田 明子 | 神土 純子 | 難波 賀恵 | 水舟 雪枝 | |
| 岡田 孝文 | 杉山 奉文 | 二階堂 保 | 光畑 俊行 | |
| 小野 恭平 | 鈴木 正二 | 仁木 壯 | 三村美智子 | |
| 小野富貴子 | 角南 真澄 | 花田 雅行 | 三宅 邦子 | |
| 小埜 雄一 | 瀬戸 遼人 | 原田 清志 | 三宅 修司 | |
| 片山 和良 | 高橋 茂 | 日笠 栄 | 向井 一紀 | |
| 勝浦 義政 | 高橋 吉保 | 疋田 克繁 | 八代 武利 | |
| 河端 武史 | 瀧本 孝 | 平井 広隆 | 安信 政男 | |
| 木村 健治 | 伊達 勝則 | 平田 祥之 | 矢野 有哉 | |

以上の他に匿名希望 67 名、合計 145 名です。

賛助会員 【団体】

| | |
|----------------------|-----------------------|
| R S K山陽放送 株式会社 | 公益財団法人 慈圭会 慈圭病院 |
| 株式会社 アイスライン | 医療法人 清水医院 |
| アサヒ通信システム 株式会社 | 医療法人 清水レディス・クリニック |
| 株式会社 大手饅頭伊部屋 | 株式会社 セキュリティハウス |
| 株式会社 大原組 | 総社花萬 株式会社 |
| オカネツ工業 株式会社 | 株式会社 中国銀行 |
| 岡山医療生活協同組合 | 中国建設工業 株式会社 |
| 岡山県貨物運送 株式会社 | テレビせとうち 株式会社 |
| 公益社団法人 岡山県看護協会 | 株式会社 トマト銀行 |
| 岡山県美容生活衛生同業組合 | 株式会社 トンボ |
| 岡山県民共済生活協同組合 | ナカシマプロペラ 株式会社 |
| 岡山商工会議所 | 中谷興運 株式会社 |
| 岡山商工会議所女性会 | 有限会社 中村保険企画 |
| 岡山市連合婦人会 | ネットトヨタ山陽 株式会社 |
| 株式会社 岡山製紙 | 株式会社 バーズコミュニケーション |
| おかやま信用金庫 | 株式会社 馬場総合鑑定所 |
| 岡山タイヤ販売 株式会社 | 備北信用金庫 |
| 岡山北西ロータリークラブ | 福山電業 株式会社 |
| 株式会社 小倉組 | 株式会社 フジワラテクノアート |
| 弁護士法人 菊池綜合法律事務所 | 更生保護法人 備作恵済会 古松園 |
| 木下サーカス 株式会社 | 三井住友海上火災保険 株式会社 岡山支店 |
| 一般財団法人 倉敷成人病センター | みのるホテル事業 株式会社 (後楽ホテル) |
| クラブン 株式会社 | 学校法人 森教育学園 |
| 医療法人 ミネルヴァ クリニックソフィア | 株式会社 山田養蜂場本社 |
| 株式会社 廣榮堂 | ユニック中四国販売 株式会社 |
| サンコー印刷 株式会社 | 一般財団法人 共愛会 芳野病院 |
| 山陽施設工業 株式会社 | 株式会社 両備システムズ |
| 株式会社 山陽新聞社 | 両備ホールディングス 株式会社 |
| 株式会社 サンプレラ | |
| 株式会社 サンラヴィアン | |

以上の他に匿名希望 7 団体、合計 65 団体です。

被害者支援員養成講座を受講してみませんか？

（被害者サポートセンターおかやま《VSCO》主催）



被害者サポートセンターおかやま(VSCO)は、^{ヴィスコ}犯罪や交通事故などによる被害者や、そのご家族・ご遺族の方に対して、電話・面接相談や警察署・検察庁・裁判所や医療機関、行政機関へ付き添うなどの支援を行っています。2025年度も支援員(ボランティア)養成講座を開催し、支援員(第19期生)を募集します。詳しくは、ホームページをご覧ください。(2025年2月中旬頃掲載予定)

【応募要件】

被害者支援の活動に参加できる方・被害者支援について学びたい方・職務上、被害者支援について学ぶ必要のある方
被害者支援ボランティアとして活動したい大学生(基礎講座まで)

【会場】 きらめきプラザ(岡山市北区南方)



編 集 後 記

当センターの活動は、会費、寄付金や県・市町村からの補助金・負担金、委託金等によって支えられていますが、十分とは言えません。VSCOの仲間(会員)やサポーター(賛助会員)を募集しています。

今後ともVSCOの被害者等支援活動にご理解、ご支援をお願いいたします。 広報委員長

相談・支援は無料 秘密厳守

犯罪被害相談電話

にーさん ころろに
086-223-5562

月～土 10時～16時
(祝日・年末年始は休みます)

性暴力被害者支援センター「^{こころ}おかやま心」

086-206-7511

月～土 9時～17時
(夜間・休日は国のコールセンターが受け付けます)

はやくワンストップ
#8891 (全国共通短縮番号)

VSCOおかやま

検索



岡山県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
全国被害者支援ネットワーク加盟・民間支援団体
公益社団法人被害者サポートセンターおかやま

ヴィスコ
(VSCO)

事務局 〒700-0824 岡山市北区内山下2丁目2番15号
電 話 (086)-223-5564
F A X (086)-201-5564
E-mail vsco@vsco.info
H P http://vsco.info



この機関誌は、「赤い羽根共同募金」の助成を受けて作成しています。